

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	茨城大学	個人・グループ名	岩野友哉・久本早織 松井康朗	作品名	脚元 brothers
-----	------	----------	-------------------	-----	-------------

製作の動機・目的

本研究室で使用しているデスクは, 机上が 900mm×600mm である。私たちは 3 年生になってから, 技術教育に関する書籍や学習指導要領などがより一層増えた。これらのものは現在, 机の上に置いて管理しているため, 学習時の使用可能スペースが少なく, 書籍や参考書が満足に広げられないという問題があった(図1)。

そこで, 机をより有効に使用するために, 机の下にあるデッドスペースを活かす収納棚(図2)を製作することで, 学習環境の改善を図った。



図1 before



図2 after

利用方法・工夫点

【全体(図3)】

①材料費をより安く抑えるために, 910mm×1820mm (税込¥1,080)の針葉樹合板を使用した(図4)。

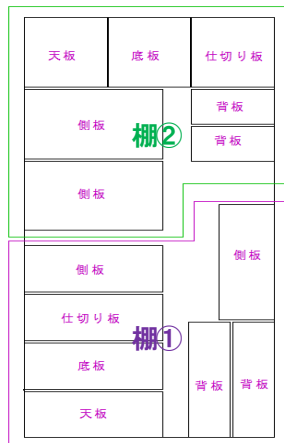


図4 木取り図

②研究室は, みんなが使う場所であるので, **椅子がしまえるようにL字型に設計した(図5・図6)。**



図5 L字型本棚



図6 椅子の収納

③利き手によって使いやすい方向があると考え, **左右を組み替えることができるようにした(図7)。**



図7 左右組み換え

④**あられ組み継ぎ**をすることで, 接合部の丈夫さ・美観にこだわった。



図3 全体

【棚①】

①仕切り板を手前に引き出せるよう可動にすることで, **収納物が取り出しやすいようにした(図8)。**



図8 仕切り引き出し

②溝を2箇所作ることによって, 使用者の用途に沿って, **仕切り板の高さを変えられるようにした(図9)。**



図9 仕切りの高さ変更

【棚②】

①教育学部生が多く所持している, 学習指導要領や指導要録などの **A4 サイズの書籍が入るよう**に高さを工夫した(図10)。



図10 高さの工夫